

## 湘南慶育病院 吉田 丈(リハビリテーション部 作業療法士 入職2年目)

**功 績** 吉田は2022年 5月15～29日に開催された第8回日本臨床作業療法学会において発表(演題名:急性期の脳卒中患者に対するCO-OPを基盤とした作業療法実践:ケースレポート)し、結果、【ベストプレゼンテーション賞】を受賞。学術発表を通じて本人の日頃の努力並びに当院の知名度向上に貢献した功績。

**推 薦 者** 久保 雅昭(リハビリテーション部 部長)

**推 薦 理 由** 当院リハ部の吉田丈(作業療法士)が、新人教育プログラムの一環として、プリセプター2名の指導の下、今回第8回日本臨床作業療法学会において発表し【ベストプレゼンテーション賞】を受賞できたことは本人の自信、成長に繋がったのみならず、当院の知名度向上にもつながった事は理事長賞に値するとし推薦いたします。

### 内 容

---

当院リハビリテーション部の吉田丈(作業療法士 2年目)が第8回日本臨床作業療法学会学術大会でベストプレゼンテーション賞を受賞いたしました。

これは優秀演題表彰として優れた口述発表の中から選出を頂きました。

演題名「急性期の脳卒中患者に対するCO-OPを基盤とした作業療法実践:ケースレポート」。

本事例は、湘南慶育病院リハビリテーション部の新人教育プログラムの一環として、(演題提出当時1年目の)OT吉田丈が、プリセプターの廣瀬卓哉(OT主任)、指導者の丸山祥(OT科長)の指導の下、報告をいたしました。

本演題が受賞に選出された理由として、近年注目されている「CO-OPアプローチ」という方法について、急性期の患者さんに適用した事により、ADLの可及的速やかな改善や、それ以外の作業遂行能力の改善にも効果が波及したと考えられた、という点で、臨床的に成果が上がっていることはもとより、学術的にも新規性がある、として評価されました。